

# コミュニティ・スクールだより

令和5年6月08日

R5 第1号

田原市立田原中学校

## 令和5年度第1回学校運営協議会の開催



5月30日(火)、本年度第1回学校運営協議会が開催されました。今年度は、昨年度に加え、田原市商工会、田原社会福祉協議会からも参加いただき、委員は総勢9名となりました。

校舎・授業の参観、構成員の確認、学校運営方針の確認のあと、協議会が開かれ、それぞれの立場から、さまざまな意見がでました。以下に出された意見の一部を紹介します。

## 主な意見

- スポーツ協会などでもボランティアが足りていないところがあるので、他団体とも連携をとっていくとよい。
- また、ひとなる協働本部（地域学校協働本部）の活動が伝わっていない部分があるので、「協働本部だより」を発行し、市民館などにも配付していく。場合によっては、説明会も開いていく。
- たはランティアだけでなく、全校の生徒へ活動が広がっていくとよい。
- 各コミュニティは、代表が変わっていくので活動が継続していく仕組みを作りたい。
- 各コミュニティでの活動が、他のコミュニティに広がってゆくとよい。
- ゲートボールやグランドゴルフなどで地域の方は、中学生と交流できるのを喜んでいる。
- コロナの規制がなくなり、以前の活動が戻ってきたので、まちなか賑わいづくりの活動にも中学生にどんどん参加を呼びかけていく。
- 引きこもり、生活困窮者などの支援活動として、「子ども食堂」を開いているが、中学生がしっかりと手伝ってくれている。
- 2年生の職場体験に向けた「企業フェア」などの活動にもひとなる協働本部が協力できている。
- ひとなる応援隊（ボランティア）に登録してもらい、今年度は、環境美化活動、たはランティアの引率、防災キャンプに参加してもらうことができた。さらに参加してもらうため、説明会を開き、ボランティア証を発行して、誰がひとなる応援隊なのか、明確にしたい。
- 活動に参加してみると、中学生は受け応えなどがとてもしっかりしていることがわかった。
- たはランティアの生徒が推進力になり、地域での活動も増え、子どもたちもやりがいをもって取り組んでいる。
- 地域の方から「待ってたよ」「ありがとう」など声を掛けられ、生徒の自己肯定感が高まってきた。



今後の予定…11月14日(火) 第2回協議会・3月12日(火) 第3回協議会

ご意見・ご要望などお寄せください 担当 田原中学校 主幹教諭 坂上直樹

Tel:0531-22-1218 Fax:0531-22-1219 E-mail:taha-jj@city.tahara.aichi.jp

※田原中学校ブログ、更新がんばっています→

